


指定文化財等台帳（市指定文化財）

名称	だいにちによらいざぞう 大日如来坐像	員数	1 軀			
分類（種別）	有形文化財（彫刻）	指定番号	彫11			
指定等年月日	令和元年11月20日	時代	平安時代			
構造・形式等	寄木造 法量：総高138.0cm （本体像高90.5cm、台座最大高37.5cm、光背高100.5cm）					
概要	<p>長延山・大川寺（大曲地域、曹洞宗）は、もと大川西根仁王村にあった大溪寺（真言宗）が前身で、明徳2年（1391）に大曲内御物川の東岸鶉町付近（現花園町、大仙市役所大曲庁舎付近）に移転、曹洞宗に改宗したと伝えられ、天文20年（1551）には現在の地に移ったとされる。この仏像は、昭和2年（1927）に本堂伽藍が火災にあった際、本山の永平寺別院から贈られたもので、元は福井にあったと伝わる。本来、曹洞宗の本尊は釈迦如来だが、大川寺は元真言宗であり、その歴史を尊重して真言宗が本尊とする大日如来を贈ったと考えられる。</p> <p>調査の結果、仏像の頭部は平安時代の像で、体部は江戸時代の像であることが判明した。現在、市内で確認されている仏像のうち平安時代の仏像は秋田県指定有形文化財の3体のみで、市内の寺院で平安時代の仏像は大川寺以外で確認されていない。また、大曲地域の歴史と文化の発展に大きく寄与した大川寺の歴史を物語る資料であり、真言宗から曹洞宗への宗旨変え、本堂伽藍火災からの復興の歴史を現在に伝える貴重な仏像である。</p>					
所在地	大仙市大曲須和町 地内			標柱関連情報		
所有者	長延山大川寺			標柱の有無	あり	なし
所有者の住所	大仙市大曲須和町 地内			材質	石柱	木柱
管理責任者	—				その他（ ）	
管理責任者の住所	—			建立者		
備考				建立年月日		
※ 詳しくは標柱台帳を参照のこと						